

K and A JPN株式会社  
**SEA** Technology  
Leader

1-3【名古屋】修士・博士/学部不問/自社ソフト音響・振動解析エンジニア／大手自動車メーカー取引

1-3【名古屋】修士・博士/学部不問/自社ソフト音響・振動解析エンジニア／大手自

## 募集職種

### 採用企業名

K&A JPN株式会社

### 支社・支店

K and A JPN株式会社

### 求人ID

1231696

### 業種

自動車・自動車部品

### 会社の種類

中小企業 (従業員300名以下) - 外資系企業

### 外国人の割合

外国人 少数

### 雇用形態

正社員

### 勤務地

愛知県, 名古屋市千種区

### 最寄駅

東山線駅

### 給与

350万円～経験考慮の上、応相談

### ボーナス

給与：ボーナス込み

### 時給

給与は年2回の見直しがあり、成績が良ければ年間MAX5～10%の昇給可能性あり

### 勤務時間

10:00-19:00 残業40Hほど/月 ・相談可

### 休日・休暇

年間休日105日、祝日出勤 (基本土日休み・9-12月は隔週日曜日出勤) 年末年始、GW、夏季連休あり ・相談可

### 更新日

2025年04月01日 07:00

## 応募必要条件

### 職務経験

3年以上

### キャリアレベル

中途経験者レベル

### 英語レベル

日常会話レベル (英語使用比率: 50%程度)

### 日本語レベル

ビジネス会話レベル

---

日本語・英語スキル優遇

---

#### 最終学歴

大学院卒：修士号/博士号

---

#### 現在のビザ

日本での就労許可は必要ありません

---

#### 募集要項

自動車の車内車外の騒音低減のためのテクノロジー研究開発をしております。弊社オリジナルの音と振動の解析ソフトウェアを使用して、PC上でシミュレーションをし、先端の自動車開発に携わっています。事環境は、修士、博士の同僚と研究開発が出来るので、知識を活かしたスキルアップが出来ます。

国内外の有名自動車会社、自動車関連会社と取引中。

[月給]

年俸350万円～

スキルによる給与体系であり、アウトプットにより昇給します。

#### <勤務時間>

10:00～19:00（所定労働時間：8時間00分）

休憩時間：60分 2回（12:00～13:00 / 19:00～20:00）

時間外労働有無：有（20:00-22:00の時間外労働が毎日発生します）

---

#### スキル・資格

工学、物理、数学を卒業。修士、博士修了者を希望。日本語・英語スキルのある方は優遇いたします。

勤務場所は、日本国内やアメリカ国内

CAE解析のご経験3年以上希望

年齢制限なし

---

#### 会社説明

##### 機械工学、航空宇宙工学の研究者集団

**K and A JPN株式会社は音響振動の分野における研究開発を主としたコンサルティング会社として、1998年にカリフォルニア州サンディエゴ郡にて設立されました。**

当社は米国及び日本における大学、政府研究機関及び私企業に対して、数多くのエンジニアリングサービスを行うと共に、それらに纏わるソフトウェア開発業務を行っております。

K and A JPN株式会社のスタッフの多くは、カリフォルニア州立大学工学部に所属する大学院生及び機械工学、航空宇宙工学などの分野で多くの研究開発の経験を持つ客員研究者達です。

##### 【事業内容】

- SEA (統計的エネルギー解析)に基づく、Hybrid SEA (HSEA)ソフトウェアの開発・販売
- 車両のHSEAモデル作成および騒音目標性能達成のための仕様検討受託(共同プロジェクト含む)
- HSEA解析の技術サポート、技術教育、トレーニング

当社は、これまでに、自動車、鉄道、船、飛行機、ロケット、人工衛星、建物など、様々な対象物に対して振動・音響問題の診断・予測・設計に関する実験・解析を行っております。

数多くのプロジェクトにおける解析手法として、統計的エネルギー解析 (SEA) 法を拡張したHybrid SEA法を用いており、Hybrid SEA Systemのソフトウェア開発及びその販売を行っています。

また、上記に加えて、当社ではソフトウェアの保守の一環として、電話での詳細な技術サポートを行うと共に、Hybrid SEA SystemのユーザーやSEA法に携わる一般のクライアントに対して、Hybrid SEA Systemの研修も行っております。

##### 【主要取引先】

NASA Marshall, NASA Langley, NASA Glenn, Office of Naval Research, CNES,

株式会社本田技術研究所, Honda R&D Americas, Inc., 日産自動車株式会社, 日産車体株式会社, 富士重工業株式会社, スズキ株式会社, 三菱自動車工業株式会社, 林テレンプ株式会社, 豊和繊維工業株式会社, 寿屋フロンテ株式会社, Treves, 河西工業株式会社, 宝和工業株式会社, 株式会社パーカーコーポレーション, 株式会社タケヒロ